



祝、九州完全制覇！

9月22日から24日の3日間、福岡市ヨットハーバーにて九州学生ヨット選手権大会(団体戦)が行われました。この大会は全日本学生ヨット選手権大会の予選を兼ねた非常に大切な大会です。今年の九州水域には国際470級4枠、国際スナイプ級3枠に全日本インカレへの出場権が与えられています。選手、サポート、運営に分かれながらも、部員全員が一丸となって大会に臨みました。



大会を振り返ると3日間通して風に恵まれず、予定していた7レースを消化することができず、3レースのみの実施となりましたが、1レース1レースに

集中して取り組み、各々の課題を再認識することができました。8、9月と取り組んできた夏練習の成果もあってか、国際470級、国際スナイプ級共にクラス優勝することができ、九州学生ヨット選手権大会を完全優勝という最高の結果で終えることができました。

次はいよいよ福井県若狭和田マリーナでの全日本学生ヨット選手権大会です。一年間、この全日本インカレで総合優勝することを目標に活動してきました。残りの1か月も部員全員で戦い抜きたいと思います。(今西)

470 ジュニアワールド

8月27日～9月2日にかけて神奈川県藤沢市江ノ島ヨットハーバーにて470ジュニアワールド選手権大会が行われました。九州大学からは河原田

健介(4年)/長尾創真(3年)ペアが出場しました。大会期間中は台風の影響もありレース参加を断念せざるを得ない状況となるところもありましたが、6日間を通して11レースを消化することができました。

以下は大会を終えた河原田選手の感想です。

今大会は世界とのレベルの差を知る貴重な経験となりました。強風でのボートスピード、フリックなどのフィジカル面、そして、動作の一つ一つの完成度などを間近に見ることができました。



これからまだまだ上手くなる要素はあります。全日本インカレに向けて、一つでも弱点を減らせるように、残りはわずかですが、基本的なことから立ち返ろうと思います。(寺井)

マネージャー感謝 day

8月30日、九大ヨット部毎年恒例のマネージャー感謝Dayが開催されました。日頃の感謝を込めて、マネージャーをディンギーに乗せてレースをしたり、バーベキューでおもてなししてくれるこのイベント。



今年は出艇時からよい風が吹き、マネージャーにとってはハイクアウトがかなりきついような場面もありましたが、なんとか全員1レースを終えることができました。着岸後には選手が朝から火を起こし、買い出しに奔走してくれたバーベキューが用意されていま

した。レースの順位の発表では、まさかの4年榎藤瑞紀が、2年連続優勝を果たす結果に。マネージャーと選手が一体となって楽しんだ、素敵な1日となりました。(西口)



九州スナイプ

鹿児島県の平川ヨットハウスで9月2~3日にかけて九州スナイプ級選手権大会が行われました。九州大学からは榎原(2年)-加崎(4年)、橋口(3年)-八並(3年)、荒川(3年)-笹川(2年)、内藤(3年)-都田(2年)、竹中(2年)-西島(2年)、川野(1年)-高島(3年)の6チームが出場しました。また、橋元先輩(H28年卒)には2年生クルーの鹿野(2年)と出場していただきました。

遠征組は1日に前入りし、出艇して海面の状態をチェックしたり、鹿児島国際大学の運営する練習レースに参加したりしました。宿泊は鹿児島国際大学の合宿所をお借りして福岡大学と共同で泊まりました。ミーティングでは、鹿児島国際大学の部員に海面の癖など有益な情報を教えてもらいました。レース1日目は軽風の中で2レースを消化し、2日目はノーレースが2回続き、レースを行うことができませんでした。

大会成績としては橋元先輩/鹿野ペアが優勝、ほかにも榎原/加崎ペアが5位と橋口/八並ペアが6位入賞という成績を収めることができました。

以下は大会を終えた内藤選手の言葉です。

今回のレースでは、6位入賞を果たした3艇が全日本スナイプの出場を決めることができました。下位艇にとっては今シーズン最後のレースとなりましたが、結果を残せた人もそうでない人も現在の自分の実力や弱点を知ることができたと思います。この経験を今後の練習に繋げ、今年の全日本

インカレや来シーズンがより良いものとなるよう努力したいと思います。(寺井)

福井プレ国体

今年 of 全日本インカレ開催地は初の福井県の若狭和田で、私たち九州大学ヨット部にとっても馴染みのない場所です。そこで、インカレの下見も兼ねて、9月7日(木)～10日(日)にかけて行われた福井しあわせ元気国体セーリング競技プレ大会にレギュラーメンバーが参加しました。

国際470級では河原田(4年)/長尾ペア(3年)が10位、国際スナイプ級では高山(4年)/内藤(3年)ペア



が2位という結果を収めました。詳しいレース結果は九大ヨット部フェイスブックをご覧ください。

レース日の3日間は、風や波が強くて海が荒れた日や一日中微風が続く日など様々なコンディションを経験でき、インカレに向けても良いシミュレーションになりました。また、実業団が多く参加した大会でもあり、よりレベルの高いフリートレースのなかで現在の自分たちの実力を試すことができました。(岩原)

女子インカレ

9月14日(木)～17日(日)に神奈川県葉山マリナーで全日本学生女子ヨット選手権大会が行われ、九州大学からは国際470級1艇、国際スナイプ級2艇が出場しました。

出場選手は11日から現地入りし、海上練習を行なっていましたが、12日は強風と雷により出艇を断念しました。レース期間も1日目が微風、2日目は

台風が近いこともあり雨で肌寒いなかでの強風、最終日は雨による視界不良でノーレースと天候には恵



まれませんでした。3日間で両クラスともに7レースを消化しました。結果は国際470級佐藤 菜々

恵(4年)/比嘉 みなみ(3年)組 10位、国際

スナイプ級荒河風夏(3年)/鹿野千尋(2年)組 11位、川野真依(1年)/高島理奈子(3年)組 21位でした。



残念ながら個人入賞できず悔し

い結果になってしまいましたが、各選手練習の成果を結果に結びつけることができた場面もありました。また、他大学の女子選手と交流し、様々なことを吸収することができました。今大会で得たものを全日本インカレまでの残りの練習に活かしていきたいと思っています。(末永)

七大戦祝勝会

9月28日に伊都キャンパスの地下食堂で七大戦の祝勝会が行われました。

祝勝会には帆友会の先輩方に加えて、久保総長をはじめとする大学関係の方々や、秋山会長をはじめとする福岡県セーリング連盟の皆様にもお越しいただきました。七大戦8連覇達成のお祝いの言葉をいただくとともに、日頃からのご支援への感謝を皆様にお伝えすることができました。

また女子部員によるシャンティのコーラスや現役部員のエールでは、長い歴史をもつ九大ヨット部の伝統を感じました。短い間ではありましたが、現役部員

は先輩方と直接お話しさせていただき有意義な時間を過ごすことができました。(末永)



今月のピカイチ食当

今月の食当はいつもと入れ物が違います。そうです。タッパー飯です。

なぜ今までの丼ではなく、わざわざタッパーに詰めているのかというと、全日本インカレに向けて練習時間を確保すべく一部練を行なっているからなのです。(一部



練とは朝出艇し、昼の着岸を行わず練習終わりまで1日沖での練習を行うことです)今までは一部練の際のお昼ご飯はおにぎり3個でしたが、選手の「海上でおきにぎり3個は食べるのが辛い」という要望に応じて実現したのがこのタッパー飯です。普段の丼をそのまま海上で食べられるようタッパーを人数分買い揃えました。

今月紹介するタッパー飯は親子丼。彩りやおかずの量に手厳しい選手は出汁のたっぶりかかって緑も乗っているこのメニューには大満足でした。決まった予算の中で彩りと量を考えながらタッパーに詰めるマネージャーの頑張りに拍手!!!

タッパー飯にしてからはご飯を残す選手もおらず、きちんとお昼休憩を堪能してくれています。全日本インカレに向けて食事からも全力で選手をサポートしていきたいと思えます!(入江)



来月の予定

〈九大祭〉

10月7、8日に九州大学伊都キャンパスで九州大学の大学祭、九大祭が開催されます。今年も1年生が主要メンバーとなって、“ヨット部よっちゃん”を出店し、はし巻きとオムそばを売り出します。全日本インカレ前ということで上級生は応援には行けませんが、学祭でもヨット部の存在感を放ってほしいですね。

〈全日本インカレ団体戦〉

11月1日(水)~11月5日(日)に全日本インカレ団体戦が福井県の若狭和田マリーナで行われます!

10月28日より前入りをし、事前練習を行う予定です。これまで「Be an athlete」のスローガンのもと、弱点の克服や多くの遠征など目標である全日本インカレ総合優勝に向けて駆け抜けてきました。わずか30日ほどとなりましたが、総合優勝を勝ち取るべく部員一同全力で戦っていきます!!お時間がございましたら、是非ハーバーにてご声援頂けると幸いです。(水之江)